

社団法人日本心理学会 平成 20 年度 4 月常務理事会議事録

日 時 平成 20 年 4 月 12 日 (土) 11 時—14 時
会 場 ホテル機山館会議室
出席者 岩崎庸男理事長, 日野林俊彦, 小嶋祥三, 繁樹算男, 鈴木直人,
横田正夫各常務理事
(事務局 鈴木厚子, 仮澤 亮)
議 長 岩崎庸男 (理事長)

I. 議事録の確認

前回の常務理事会 (3 月 15 日開催) の議事録を承認した。

II. 報告事項

1. 事務報告

(1) 会員移動

事務局より, 3 月 1 日—3 月 31 日までの会員異動状況について, 新入会員 10 名, 希望退会者 68 名があり, 3 月 31 日現在の会員数 (賛助会員を除く) は 7256 名であるとの報告があった。

2. 委員会報告

(1) 倫理委員会

繁樹倫理担当常務理事より, 4 月 5 日開催の倫理委員会について報告がなされた。なお, 本委員会で作成している倫理規程は, 認定心理士も対象とするべきであることが確認された。

3. その他

(1) 科学研究費補助金申請について

鈴木総務担当常務理事より, 2008 年度の文部科学省科学研究費補助金の申請について, 不採択の通知があったことが報告された。

(2) 第 73 回大会開催日程について

鈴木総務担当常務理事より, 第 73 回大会準備委員長の吉田甫氏 (立命館大学) から大会日程を 2009 年 8 月 26 日(水)—28 日(金)としたいとの連絡があったことが報告された。

(3) 研究集会の募集について (公示)

日野林総務担当常務理事より, 2008 年度の研究集会募集の公示をホームページに掲載したとの報告があった。公示期間は 4 月 1 日~5 月 30 日までとし, 6 月常務理事会にて審議の予定である。

(4) “∞のこどもたち” 展開催報告について

鈴木総務担当常務理事より, 日本心理学会が協賛をしている“∞のこどもたち”展より, 開催報告が送られてきたことが報告された。

Ⅲ. 審議事項

1. 入会審査

新規申請のあった 13 件のうち、正会員入会審査規程 2(1)に該当する者 9 名の入会を一括承認し、残る 4 件について資料に基づき個別審査を行い、2(1)に該当すると判断した 2 名、2(2)に該当すると判断した 1 名、2(4)に該当すると判断した 1 名を入会可とした。

2. 委員会人事の件（広報委員会、国際賞選考委員会、優秀論文賞選考委員会）

小嶋広報・国際担当常務理事より、広報委員会および国際賞選考委員会の任期満了に伴う委員交替の提案が、繁樹編集担当常務理事より、優秀論文賞選考委員会の委員長および交代委員の追加提案がなされ、承認された。

優秀論文賞選考委員会

委員長 岩永誠，針生悦子

3. 認定心理士資格の日本心理学諸学会連合による基礎資格承認の件

岩崎理事長より、配布資料に基づき標記の件につき説明がなされた。審議の結果、認定心理士資格取得者に送付する標記の文書について承認された。文書の文言は、以下の通りである。

“日本心理学諸学会連合は社団法人日本心理学会認定心理士を日本心理学諸学会連合の基礎資格として承認する”

4. ICP2008 講演・シンポジウムへの旅費支給の件

小嶋国際担当常務理事より、配布資料に基づき標記の件につき説明がなされ承認された。また、審議の結果、日本心理学会から推薦し不採択となった会員で ICP2008 に出席する者について、15 万円以内で大会参加費および旅費の補助を行うこととした。なお、ICP2008 と同時開催される国際テスト連合に、繁樹常務理事が日本心理学会代表として出席することを承認した。

5. 第 71 回大会（東洋大学）論文集ウェブ公開の件（公示期間、公開範囲）

小嶋情報化担当常務理事より、第 71 回大会の論文集をウェブ公開する件につき提案がなされ、これを承認した。公示期間は 2 ヶ月間とし、公開の対象は日本心理学会会員、認定心理士とする。

6. 大学図書館での大会論文集 CD-ROM の貸出について（桜美林大学図書館）

鈴木総務担当常務理事より、大学図書館等で大会論文集を貸し出しする際の CD-ROM の取扱いについて説明がなされた。審議の結果、貸し出しは認めること、論文の著作権は第 70 回大会以降については日本心理学会に帰属するが第 69 回大会は論文著者に、著作権移譲についての同意を得ていないことを確認した。

7. 日本認定心理士会の件（経理の引継ぎ、データベース移管、協力金の振込期日）

鈴木総務担当常務理事より標記の件につき説明があり、日本認定心理士会事務局の移転状況について確認した。2008 年度の同会への協力金の支払いを行うこととした。なお、日本認定心理士会のホームページの独立を同会へ提案する。

8. 会員名簿作成の件

鈴木総務担当常務理事より、標記の件につき説明があり、2008年度会員名簿の作成を業者へ委託することを承認した。委託業者の選定については、複数から相見積もりを取ることにした。なお、今回からの名簿の標記を五十音順とする旨の提案がなされ、承認された。

また名簿への掲載項目については、氏名、地域、専門を必須とし、その他の掲載情報の掲載如何は会員自身の選択によるものとした。

9. 職員人事の件

岩崎理事長より、4月からの事務局体制について説明があり、これを承認した。

10. 転載許諾依頼の件

旭川医科大学図書館より、同大学所属者の“心理学ワールド”掲載論文を学術リポジトリへ転載したい旨の依頼があり、日本心理学会としてはこれを承認した。なお、“心理学ワールド”の著作権の問題については実務教育出版上確認を取り、心理学ワールド編集委員会での検討を依頼することとした。

11. 協賛依頼の件

日本知能情報ファジィ学会から“第24回ファジィシステムシンポジウム”への協賛依頼があり、これを承認した。

12. 公開シンポジウム追加開催の件

鈴木総務担当常務理事から説明のあった、内藤佳津雄氏（日本大学）から公開シンポジウムの追加開催の提案について審議し、これを承認した。

社団法人日本心理学会 平成 20 年度 5 月常務理事会議事録

日 時 平成 20 年 5 月 17 日（土）10 時—13 時

会 場 ホテル機山館会議室

出席者 岩崎庸男理事長，日野林俊彦，小嶋祥三，繁榊算男，鈴木直人，横田正夫各
常務理事

（事務局 鈴木厚子，仮澤 亮）

議 長 岩崎庸男（理事長）

I. 議事録の確認

前回の常務理事会（4 月 12 日開催）の議事録を承認した。

II. 報告事項

1. 理事長報告

常勤嘱託職員として 5 月 1 日から中山早苗氏を採用した旨の報告があった。

2. 事務報告

(1) 会員異動

事務局より，4 月 1 日—4 月 30 日までの会員異動状況について，新入会員 86 名，希望退会者 23 名があり，4 月 30 日現在の会員数（賛助会員を除く）は 7,319 名であるとの報告があった。

(2) 文部科学省からの臨時調査について

事務局より，文部科学省から“行政と密接な関係にある公益法人”に関する調査用紙が届き（メール）4 月 28 日，5 月 1,2 日に報告書を提出したことが報告された。

3. 委員会報告

(1) 編集委員会

繁榊編集担当常務理事（委員会委員長）より，5 月 10 日に開催された編集委員会について報告がなされた。また，“編集委員会の申し合わせ”の修正について説明があり，意見交換があった。

(2) 認定委員会

横田認定担当常務理事（委員会委員長）より，4 月 19 日に開催された認定委員会の報告があった。また，認定心理士資格取得の基礎条件についての再確認を行なった。

(3) 優秀論文賞選考委員会

繁榊編集担当常務理事より，5 月 10 日に開催された優秀論文賞選考委員会について第一次審査対象論文が決まった旨の報告があった。

(4) 将来構想検討委員会

鈴木総務担当常務理事より，4 月 29 日に開催された将来構想検討委員会について報告があった。

4. その他

(1) 日本認定心理士会について

鈴木総務担当常務理事より、3月27日の日本認定心理士会総会にて、同会事務局の移転が承認されたことが報告された。また、認定心理士会会員への“心理学ワールド”誌の送付を日心と一括して行いたい旨の依頼があったことが説明され、了承された。

(2)認定心理士資格の日心連基礎資格承認文書について

横田認定担当常務理事より、認定心理士資格取得者に送付する日心連基礎資格承認文書を作成したことが報告された。

(3)補助金の公募について

鈴木総務担当常務理事より、日本学術振興会から特別研究員の募集、および日本学術振興会賞の公募、また中山科学振興財団から中山賞の募集があり、情報をホームページに掲載したことが報告された。なお、今後同様の公募情報が送られてきた際は、随時ホームページに掲載することとした。

III. 審議事項

1. 入会審査

新規申請のあった44件のうち、正会員入会審査規程2(1)に該当する者37名の入会を一括承認し、残る7件について資料に基づき個別審査を行い、2(1)に該当すると判断した1名、2(2)に該当すると判断した1名、2(3)に該当すると判断した1名、2(4)に該当すると判断した2名を入会可とし、2名を保留とし、内容を問い合わせることとした。なお、正会員入会審査規程を見直す必要があるとの意見が出された。

2. 理事会・総会次第の件

鈴木総務担当常務理事より標記の件につき説明があり、6月に開催される理事会・総会の次第について審議した。

3. 平成20年度収支予算書の件

鈴木総務担当常務理事より、平成20年度の収支予算書について説明があり、一部修正することが承認された。

4. 名誉会員候補者推戴の件

鈴木総務担当常務理事より、名誉会員候補者の説明があり、1名を推戴することとした。

5. 終身会員承認の件

鈴木総務担当常務理事より、終身会員候補者の説明があり、12名を終身会員とすることが承認された。

6. 将来構想検討委員会第1次報告書の件

鈴木総務担当常務理事より、将来構想検討委員会にて作成された第1次報告書について説明があった。審議の結果、6月に開催される理事会・総会に、この報告書を提出することとした。

7. 委員会委員委嘱の件

小嶋広報担当常務理事より広報委員会の、横田認定担当常務理事より認定委員会の

委員の追加，交代に関する提案があり，これを承認した。

広報委員

足立浩平，山口真美，今田純雄，
青山謙二郎，柴崎光世

認定委員

森津太子

8. 国際会議旅費補助申請の件

小嶋国際担当常務理事より，国際学会，国際会議参加者への旅費支給，補助等に関する内規に基づく申請 32 件につき審査した。審査にあたり，(1)若手研究者を優先して補助する，(2)国内で開催される国際学会の補助はしないという原則を設け，31 件について申請金額の一部を補助することとした。

9. 国内旅費規程改正の件

鈴木総務担当常務理事より，国内旅費規程の改正が提案され，理事会に諮ることとなった。

10. 功績賞の件

鈴木総務担当常務理事より，日本の心理学の発展や学会活動等に貢献した者を顕彰する日本心理学会功績賞の創設が提案され，規程，選考細則，委員会規程の原案について説明があった。本件については，継続審議とし，6 月の理事会・総会では，‘創設の趣旨’・‘規程等の審議状況’等，経過報告をし意見を求めることとした。

11. 倫理問題管理委員会の件

鈴木総務担当常務理事より，学会の倫理問題が生じた際に対処するための倫理問題管理委員会の設置が提案され，継続審議となった。理事会・総会で状況を報告することとした。

12. “心理学研究”電子公開について

繁榊編集担当常務理事より，前常務理事会でも審議されていた，JST からの“心理学研究”の電子公開提案について，積極的に勧めることが再確認され，承認された。

13. 協賛依頼の件

(1)カラーフォーラム JAPAN2008 より同フォーラムへの協賛依頼があり，これを承認した。

14. 転載許諾依頼の件

(1)(株)講談社より“心理学ワールド”掲載原稿の他書籍への転載許諾依頼があり，これを承認した。なお，“心理学ワールド”掲載原稿の著作権移譲の同意について，“心理学研究”と同様の形態にするかどうか心理学ワールド編集委員会にて審議を依頼することとなった。

IV. その他

1. 会員名簿業者委託の件

2008年度名簿作成業者の相見積もり資料を席上回覧し、委託業者を決定した。

2. インターネットバンキング・郵便料金計器の件

事務局業務の省力化のため導入することとなった。

3. 事務局体制の件

事務局より事務局職員・アルバイトの状況について説明があり、先日の面接で採用が決まった1名の他に、認定業務に携わる常勤嘱託職員として1名採用する方向となった。

4. 事務局移転の件

事務局を統合し仕事の効率化を図るための物件を探していたが3件の物件の紹介があった。今後、他も確認した上で、方針を決めることになった。

社団法人日本心理学会 平成 20 年度 6 月臨時常務理事会議事録

日 時 平成 20 年 6 月 2 日 (月) 12 時—14 時
会 場 社団法人日本心理学会本室
出席者 岩崎庸男理事長, 日野林俊彦, 小嶋祥三, 繁榊算男, 横田正夫各常務理事
(事務局 鈴木厚子)
議 長 岩崎庸男 (理事長)

臨時常務理事会に先立ち田村ビル 2 F を常務理事・事務局職員が内見した。

I. 報告事項

1. 理事長報告

6 月 2 日 14 時から監事による会計監査が行われるとの報告があった。

II. 審議事項

1. 常勤嘱託職員採用の件

理事長から 5 月 26 日に常勤嘱託職員の採用面接を行い, 松村友美子氏を 7 月 1 日付けで採用することとしたとの報告があり, 承認された。

2. 事務局移転先の件

5 月 17 日, 本日の候補物件の内見を元に, 移転先について検討した。審議の結果, 田村ビル 2 F に移ることを決定した。

3. 平成 20 年度収支予算書の件

日野林財務担当常務理事より, 平成 19 年度の決算の繰越金額が確定したこと, および事務局統合経費を予算に組み込むため, 平成 20 年度の収支予算書を再度修正することが提案され承認された。

4. 理事会・総会次第の件

5 月 17 日の常務理事会で審議した理事会・総会の次第についての最終決定を行った。

社団法人日本心理学会 平成 20 年度 6 月常務理事会議事録

日 時 平成 20 年 6 月 21 日（土）10 時 30 分—12 時

会 場 ホテル機山館会議室

出席者 岩崎庸男理事長，日野林俊彦，小嶋祥三，繁榊算男，鈴木直人，横田正夫各
常務理事

（事務局 鈴木厚子，仮澤 亮）

議 長 岩崎庸男（理事長）

I. 議事録の確認

前回，前々回の常務理事会（5 月 17 日，6 月 2 日開催）の議事録を承認した。

II. 報告事項

1. 理事長報告

岩崎理事長から，以下のことが報告された。

(1)6 月 8 日に開催された日本心理学諸学会連合理事会について報告があり，
今年度の予算や資格委員会の状況説明があった。

(2)将来構想検討委員会委員長の田島信元委員長より，同委員会の提出された第一次
中間報告書に対する常務理事会の意見を求める旨の連絡があったことが報告され，
7 月常務理事会にて審議することとなった。

2. 事務報告

(1)会員異動

事務局より，5 月 1 日—5 月 31 日までの会員異動状況について，新入会員 23 名，
希望退会者 5 名，逝去者 2 名があり，5 月 31 日現在の会員数（賛助会員を除く）
は 7,335 名であるとの報告があった。

3. 委員会報告

(1)認定委員会

横田認定担当常務理事（委員会委員長）より，5 月 17 日および 6 月 14 日に開催さ
れた認定委員会の報告があった。

(2)倫理委員会

繁榊倫理担当常務理事（委員会委員長）より，6 月 1 日開催の倫理委員会について
報告があった。

4. その他

(1)名簿（選挙台帳）調査・制作の件(資料席上回覧)

鈴木総務担当常務理事より，2008 年度会員名簿作成のための調査票を 6 月末まで
に送付するとの報告があった。

(2)第 71 回大会（東洋大学）論文集のウェブ公開の件

小嶋情報化担当常務理事より，第 71 回大会の論文集をウェブ公開について，公示
期間に特に意見は寄せられなかったことが報告された。これに伴い，日本心理学会
会員，認定心理士への公開を実施することとなった。

Ⅲ. 審議事項

1. 入会審査

新規申請のあった 10 件のうち、正会員入会審査規程 2(1)に該当する者 6 名の入会を一括承認し、残る 4 件について資料に基づき個別審査を行い、2(1)に該当すると判断した 4 名を入会可とした。

2. 理事会・総会次第の件

鈴木総務担当常務理事より、理事会・総会の次第について説明があり、これを承認した。

齊藤公認会計士からは、理事会・総会に提出する決算資料について、日野林財務担当常務理事から収支予算書変更について説明あった。

3. 代議員・理事・理事長選挙日程および公示の件

鈴木総務担当常務理事より、代議員・理事・理事長選挙の日程について提案があり、これを承認した。

4. 国際会議旅費補助申請の件

小嶋国際担当常務理事より、国際学会、国際会議参加者への旅費支給、補助等に関する内規に基づく申請 2 件あったことが報告され、審査の結果、申請金額の一部を補助することとした。

5. 研究集会助成審査の件

日野林研究集会担当常務理事より、研究集会等助成規程に基づく申請 5 件につき審査し、申請通り助成を行なうこととした。

6. 倫理委員会設置動向調査票送付の件

繁樹倫理担当常務理事（委員会委員長）より、各大学における倫理規程の制定や倫理委員会の設置動向に関する調査を倫理委員会で行うことが提案され、これを承認した。送付の宛先等の詳細については、繁樹常務理事に一任された。

7. 協賛依頼の件（資料席上回覧）

“デジタルメディア作品の制作を支援する基盤技術”領域展示会‘予感研究所 2 —アート+エンタテインメント=?!—’からの協賛依頼について審議し、これを承認した。

8. 転載許諾依頼の件

(1)会員の仲真紀子氏から依頼のあった、下記“心理学研究”第 78 巻第 4 号掲載論文の Figure を金子書房“自己心理学”（仲編著）に転載する件について審議し、これを承認した。

榎 慎一・仲真紀子（2006）. 高齢者の自伝的記憶におけるバンプと記憶内容

(2)小樽商科大学図書館より依頼のあった、下記“心理学研究”第 66 巻第 4 号掲載論文を小樽商科大学学術成果コレクション“Barrel”に転載する件について審議し、これを承認した。

杉山成（1995）. 時間次元における諸自己像の関連から見た時間的展望

(3)名誉会員の大山正氏から依頼のあった、下記“心理学研究”第8巻掲載論文の Figure を Japanese Psychological Research 掲載論文に転載する件について審議し、これを承認した。

高木貞二 (1933). 山雀に於ける形の弁別並びに恒常に関する実験的研究

以上

社団法人日本心理学会 平成 20 年度 7 月常務理事会議事録

日 時 平成 20 年 7 月 12 日 (土) 11 時—17 時

会 場 ホテル機山館会議室

出席者 岩崎庸男理事長, 日野林俊彦, 小嶋祥三, 繁榎算男, 鈴木直人, 横田正夫各
常務理事

(事務局 鈴木厚子, 仮澤 亮)

議 長 岩崎庸男 (理事長)

I. 議事録の確認

前回の常務理事会 (6 月 21 日開催) 議事録を承認した。

II. 報告事項

1. 事務報告

(1) 会員異動

事務局より, 6 月 1 日—6 月 30 日までの会員異動状況について, 新入会員 16 名, 逝去者 2 名があり, 6 月 30 日現在の会員数 (賛助会員を除く) は 7,349 名であるとの報告があった。

(2) 文部科学省に定期報告書類を提出した。

(3) 文部科学省からの資格 (認定心理士) に関する調査に回答した。

(4) 心理学ワールドの宛名台紙印刷の漏れがあることがわかり, 会員および認定心理士の全ての宛名が出力されているかどうか確認し, システムの修正を依頼したとの報告があった。

(5) 会員名簿作成のための調査票封入封筒記載に間違いがあり, ホームページにその旨掲載するとともに, 業者から訂正と謝罪のはがきを発送するとの報告があった。

2. 委員会報告

(1) 編集委員会

繁榎編集担当常務理事 (委員会委員長) より, 7 月 5 日に開催された編集委員会について報告があった。

(2) 認定委員会

横田認定担当常務理事 (委員会委員長) より, 第 72 回大会時にカリキュラム検討委員会を開催するとの報告があった。

(3) 優秀論文賞選考委員会

繁榎編集担当常務理事より, 7 月 5 日開催の優秀論文賞選考委員会について報告があった。

(4) 心理学ワールド編集委員会

事務局より, 7 月 11 日開催の心理学ワールド編集委員会について報告があった。

(5) 広報委員会

小嶋広報担当常務理事より, 会員と認定心理士を対象に, 第 71 回大会論文集をウェブで閲覧するための ID とパスワードを送付するとの報告があった。また, 会員あてに一斉にメールを送るためのシステムを構築するため, 業者から見積りを取り, 次回常務理事会にて諮る旨の説明があった。

3. その他

(1)事務局賞与支給の件

事務局員への夏季賞与を支給したとの報告があった。規程に詳細の明記がない部分があり、今後、検討することとした。

(2)常務理事会議事録のホームページ掲載について

鈴木総務担当常務理事より、日本心理学会ホームページへの常務理事会議事録の掲載についての指摘があり、迅速化をはかることとした。また、理事には速やかに議事録を送付することとした。

Ⅲ. 審議事項

1. 入会審査

新規申請のあった48件のうち、正会員入会審査規程2(1)に該当する者45名の入会を一括承認し、残る3件について資料に基づき個別審査を行い、2(1)に該当すると判断した2名、2(4)に該当すると判断した1名を入会可とした。

なお正会員入会審査規程の改正について、次回常務理事会で審議することとした。

2. 選挙管理委員会の件

鈴木総務担当常務理事より標記の件につき説明があり、選挙管理委員会を設置した。選挙管理委員長は小嶋祥三常務理事とした。選挙管理委員会規程第2条(1)に基づき、名誉会員からの理事長指名の委員として、金子隆芳氏、鹿取廣人氏、山岡淳氏が推薦された。

3. 将来構想検討委員会第1次報告書の件

鈴木総務担当常務理事より、標記の件につき説明があった。引き続き田島将来構想検討委員会委員長より、将来構想検討委員会第1次報告書の内容について説明があった。

4. 協賛・共催の件

(1) “第10回日本感性工学会大会”からの協賛依頼について審議し、これを承認した。

(2) 日本心理学会第73回大会準備委員会から、同大会と立命館大学内の研究所との共催の提案について説明があり、審議の結果、承認しないこととなった。

5. 転載許諾依頼の件（資料席上回覧）

(1) “心理学研究”第76巻第6号、第77巻第4,5号掲載の下記論文を“日本語学論説資料”第43号に転載する件について審議し、承認した。

本田秀仁・山岸侯彦（2006）. 言語確率の曖昧性と方向性——確率情報の性質と意思決定に

与える影響——

西岡美和・小松孝至・向山泰代・酒井恵子（2006）. 性格記述語としての擬態語——語群の構成及び解釈——

鈴木美穂・行場次朗・川畑秀明・山口 浩・小松 紘（2006）. モダリティ・ディファレンシャル法による形容詞対の感覚関連性の分析

6. その他

(1) 心理学検定の件

鈴木総務担当常務理事より、心理学検定1級取得における認定心理士有資格者の優遇措置について説明があった。審議の結果、優遇措置について日心連に申し入れることとした。なおその際、認定心理士と心理学検定1級が同等であると明言することを要求することとした。

(2) 日本学術会議対外報告の件

鈴木総務担当常務理事より、日本学術会議より提出された対外報告について説明があり、その内容について検討を行った。

以上

社団法人日本心理学会 平成 20 年度 8 月常務理事会 議事録

日時 平成 20 年 8 月 12 日 (月) 15 時—18 時

会場 東京會館会議室

出席者 岩崎庸男理事長, 日野林俊彦, 小嶋祥三, 繁榎算男, 鈴木直人, 横田正夫各
常務理事

(事務局員 鈴木厚子, 仮澤 亮)

議長 岩崎庸男 (理事長)

I. 議事録の確認

前回の常務理事会 (7 月 13 日開催) の議事録を承認した。

II. 報告事項

1. 事務報告

(1) 会員移動

事務局より, 7 月 1 日—7 月 31 日までの会員異動状況について, 新入会員 43 名, 希望退会者 21 名があり, 7 月 31 日現在の会員数 (賛助会員を除く) は 7,371 名であるとの報告があった。

(2) 会員・認定心理士への書類送付について

事務局より, 会員宛に“第 71 回大会論文集のウェブ公開の件”, “第 72 回大会講演開催のご案内”に関する文書を, また認定心理士宛には“日本心理学諸学会連合による認定心理士の基礎資格承認に関する文書について”を加えて送付したとの報告があった。

(3) 事務局転居の状況について

事務局より, 日本心理学会事務局の統合の進行状況について報告があった。

2. 委員会報告

(1) 倫理委員会

繁榎倫理担当常務理事 (委員会委員長) より, 8 月 11 日開催の倫理委員会について報告があった。また, 倫理アンケートは集計中との報告があった。

(2) 広報委員会

小嶋広報担当常務理事より, 8 月 9 日開催の広報委員会について報告があった。

(3) 将来構想検討委員会

鈴木将来構想担当常務理事より, 7 月 31 日開催の将来構想検討委員会専門委員長会議について報告があった。

(4) 情報化委員会

小嶋情報化担当常務理事より, 会員宛にメールを一斉送信するシステムについて, 2 社から見積書をとったことが報告され, 次回以降の常務理事会で審議することとした。

(5)国際委員会

小嶋国際担当常務理事より、国際心理科学連合（IUPsyS）の理事選挙で、日本から理事が選出されなかった旨の報告があった。また 2016 年、国際心理学会議（ICP）の日本での開催について提案があり、次回の理事会で諮ることになった。

さらに、7月のICPで行われたIUPsySの総会に出席した繁樹常務理事より報告があった。2012年のICPは南アフリカのケープタウンで行われる。

3. その他

(1)日本学術会議の新公益法人制度説明会について

鈴木総務担当常務理事より、日本学術会議主催で行われた新公益法人制度に関する説明会について報告された。

(2)医療心理師国家資格制度推進協議会について

鈴木総務担当常務理事より、医療心理師国家資格制度推進協議会の幹事会が開催されることが報告された。

III. 審議事項

1. 入会審査

新規申請のあった 16 件のうち、正会員入会審査規程 2(1)に該当する者 13 名の入会を一括承認し、残る 3 件について資料に基づき個別審査を行い、2(1)に該当すると判断した 2 名、2(4)に該当すると判断した 1 名（計 3 名）を入会可とした。

2. 正会員入会審査規程改正の件

鈴木総務担当常務理事より、正会員入会審査規程の改正について提案があり、審議の結果、一部修正の上これを承認し、次回理事会に諮ることとした。

3. 終身会員承認の件

鈴木総務担当常務理事より、4名の終身会員候補者について提案があり、審議の結果、定款第 5 条(5)に基づき 4 名を終身会員とすることが承認された。

4. 倫理委員会委員任期の件

繁樹倫理担当常務理事より、倫理委員会委員の任期延長について説明があり、これを承認した。

5. 広報委員長の件

小嶋広報担当常務理事より広報委員会委員長に安藤孝敏氏をとの提案があり、承認した。

6. 理事会議題の件

鈴木総務担当常務理事より、次回理事会の議案について提案があり、これを承認した。

7. 国際会議旅費補助申請の件

小嶋国際担当常務理事より、国際会議旅費補助の申請の 1 件について提案され、審議の結果、不採択となった。

8. 選挙管理委員会発足の件

鈴木総務担当常務理事より、選挙管理委員会の発足について提案があり、これを承認した。

9. 転載許諾依頼の件

(1) “Japanese Psychological Research” 第4巻1号, 3号, 第11巻4号, 第13巻2号, 第14巻4号, 第35巻2号, 第37巻3号掲載論文を“野口 薫論文選集——ゲシュタルト心理学・交通心理学・実験美学——”に転載する件について審議し、これを承認した。

(2) “日本心理学会第71回大会発表論文集”掲載の下記論文を独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園“紀要”第1号へ転載する件について審議し、これを承認した。

齋藤史泰・吉田正守(2007). 重度知的障害者施設における臨床報告(29) 障害医療チームによる地域生活支援——心理外来の動態からみた発達障害の現況(2)—— 日本心理学会第71回大会発表論文集

(3) “心理学研究”第79巻第4号掲載予定の下記論文を“他者を気にするところと行動——人間関係の心理学入門——”(金子書房)へ掲載する件について審議し、これを承認した。

太幡直也(2008). 認知的負荷が懸念的透視感によって生起する反応に与える影響

10. 事務局職員人事の件

鈴木総務担当常務理事より、2009年4月より亀岡昌平氏の常勤嘱託職員としての採用について提案があり、これを承認した。

11. 社団法人日本心理学会功績賞の件

鈴木総務担当常務理事より標記の件について説明があり、次回理事会の報告事項で理事の意見を募ることとした。

以上

社団法人日本心理学会 平成 20 年度 9 月常務理事会議事録

日 時 平成 20 年 9 月 18 日 (木) 14 時—17 時
会 場 京王プラザホテル札幌 B1F チェリー
出席者 岩崎庸男理事長, 日野林俊彦, 小嶋祥三, 繁榊算男, 鈴木直人,
横田正夫各常務理事
(事務局 鈴木厚子, 仮澤 亮)
議 長 岩崎庸男 (理事長)

I. 議事録の確認

前回の常務理事会 (8 月 12 日開催) の議事録を承認した。

II. 報告事項

1. 事務報告

(1) 会員異動

事務局より, 8 月 1 日—8 月 31 日までの会員異動状況について, 新入会員 23 名, 退会者 11 名, 逝去者 1 名, 8 月 31 日現在の会員数 (賛助会員を除く) は 7,382 名との報告があった。

2. 委員会報告

(1) 編集委員会

繁榊編集担当常務理事 (委員会委員長) より, 9 月 13 日に開催された編集委員会について報告があった。

(2) 優秀論文賞選考委員会

繁榊編集担当常務理事より, 8 月 30 日開催の優秀論文賞選考委員会について報告があり, 今年度の受賞論文 7 篇を決定したことが報告された。

(3) 倫理委員会

繁榊倫理担当常務理事 (委員会委員長) より, 8 月 25 日, 9 月 8 日開催の倫理委員会ワーキンググループについて報告があり, 第 72 回大会シンポジウムにて配布する倫理規程案について説明があった。また今後, 倫理委員会規程について見直すこととした。

(4) 情報化委員会

小嶋情報化担当常務理事より, 会員宛メール送信システムの件, および認定心理士申請書類の管理の件について, 検討状況が報告された。

III. 審議事項

1. 入会審査

新規申請のあった 9 件のうち, 正会員入会審査規程 2(1)に該当する者 4 名の入会を一括承認し, 残る 5 件について資料に基づき個別審査を行い, 2(1)に該当すると判断した 2 名, 2(4)に該当すると判断した 3 名を入会可とした。

2. 広報委員会委員追加の件

小嶋広報担当常務理事より、広報委員会の委員の追加に関する提案がなされ、これを承認した。

広報委員 星野祐司（立命館大学）

3. 研究集会等助成審査の件

日野林研究集会助成担当常務理事より、標記の件につき説明があり、1件の申請を承認した。

4. 理事会次第の件

鈴木総務担当常務理事より理事会次第につき説明があり確認後承認した。

5. 後援依頼の件

日本霊長類学会より、“第23回国際霊長類学会大会”の日本開催（京都大学百周年時計台記念館他、2010年9月12日(日)―18日(土)）について後援の依頼があり、これを承認した。

6. その他

(1)9月26日に開催される医療心理師国家資格制度推進協議会幹事会に3名が出席することに
なった。

(2)岩崎理事長より、公益法人制度改革について勉強会を開催する必要があること、また公益法人制度検討ワーキンググループを立ち上げる旨の提案があり承認された。担当常務理事は日野林財務担当常務理事とした。

(3)認定心理士資格の日本心理学諸学会連合による基礎資格承認に関わる承認料について審議
した。会計上の扱いについては税理士と相談する。

以上

社団法人日本心理学会 平成 20 年度 10 月常務理事会議事録

日 時 平成 20 年 10 月 18 日 (土) 10 時—13 時

会 場 日本心理学会事務局

出席者 岩崎庸男理事長, 日野林俊彦, 小嶋祥三, 繁榎算男, 鈴木直人, 横田正夫各
常務理事

(事務局 鈴木厚子, 仮澤 亮)

議 長 岩崎庸男 (理事長)

I. 議事録の確認

前回の常務理事会および理事会 (9 月 18 日開催) の議事録を承認した。

II. 報告事項

1. 事務報告

(1) 会員異動

事務局より, 9 月 1 日—9 月 30 日までの会員異動状況について, 新入会員 7 名,
退会者 1 名,

9 月 30 日現在の会員数 (賛助会員を除く) 7,388 名との報告があった。

(2) 文部科学省からの調査

事務局より, 文部科学省から現況に関する調査があったことが報告された。

2. 委員会報告

(1) 認定委員会

横田認定担当常務理事 (委員会委員長) より, 8 月 23 日開催の認定委員会および
9 月 19 日

開催のカリキュラム検討委員会について報告があった。

(2) 倫理委員会

繁榎倫理担当常務理事 (委員会委員長) より, 9 月 19 日開催の倫理委員会につい
て報告があ
った。

(3) 国際賞選考委員会

小嶋国際担当常務理事より, 10 月 11 日に開催された国際賞選考委員会について報
告があり,

2009 年度第 4 回国際賞の募集についての修正点について説明があった。

(4) 将来構想検討委員会

鈴木総務担当常務理事より, 9 月 19 日に開催された将来構想検討委員会について
報告があっ
た。

3. その他

(1) 編集委員会幹事・電子化 WG 合同会議

繁榎編集担当常務理事より, 編集委員会の幹事および電子化 WG 委員合同会議の
報告があった。

(2) 会員宛てメール送信システムの件

業者と送信方法を詰めることとなったとの報告があった。

Ⅲ. 審議事項

1. 入会審査

新規申請のあった 13 件のうち、正会員入会審査規程 2(1), (2)に該当する者 11 名の入会を

一括承認し、残る 2 件について資料に基づき審査を行い、2(1), 2(4)に該当する各 1 名（計 2 名）を入会可とした。

2. 研究集会等助成審査の件

日野林研究集会等助成担当常務理事より、研究集会等助成規程に基づく申請 5 件（9 月末日締切）について助成提案があり、全て承認された。

3. 国際賞選考細則改正の件

小嶋国際担当常務理事より、国際賞選考細則の改正について提案があり、承認された。

4. 国際委員会委員および IUPsyS 代表交替の件

小嶋国際担当常務理事より、国際委員会委員および IUPsyS 代表の交代について提案があり、承認された。

国際委員 住吉チカ, 余語真夫, 積山 薫, 箱田裕司

IUPsyS 代表 仲 真紀子

5. 国際会議旅費補助の件

小嶋国際担当常務理事より、国際学会、国際会議参加者への旅費支給、補助等に関する内規に基づく申請 1 件について提案があり、減額の上、承認された。

6. 心理学研究アーカイブ化の件

繁樹編集担当常務理事より、科学技術振興機構（JST）における“心理学研究”の電子アーカイブ化についての報告があった。また、アーカイブ化は、刊行後すぐに行うこととなった。

7. 2011 年度第 75 回大会開催校について

鈴木総務担当常務理事より、2011 年度に行われる第 75 回大会の開催校について提案があり、継続審議となった。

8. 協賛・共催依頼

(1) Society for Applied Research on Memory and Cognition (SARMAC) 第 8 回大会準備委員会（7 月 26 日—29 日、京都 平安会館、準備委員長 巖島行雄）より、同大会への協賛依頼があり、承認された。

(2) 日本学術会議から安全工学シンポジウム共催の依頼および委員推薦依頼があり共催することが承認された。また、委員としては昨年と同様、竹村和久氏を推薦することとした。

9. 転載許諾依頼

(1) 内田伸子氏より、Japanese Psychological Research 掲載論文を、お茶の水女子大学グローバル COE 英文モノグラフへ転載することについて依頼があり、承認された。

(2) 小樽商科大学附属図書館からの同大学小笠原春彦氏の機関誌掲載論文を同大学のウェブサイトへの公開依頼があり認められた。

10. その他

(1) 公益法人制度改革について

日野林財務担当常務理事から“公益”社団法人申請の方向で前向きに検討することが提案され、承認された。スケジュールについての概要が示され、今後も検討することとなった。

(2) 韓国、中国心理学会との交流について

小嶋国際担当常務理事より、共同シンポジウム、相互の大会でのポスター発表の受け入れ、研究者の招聘・派遣補助等、日韓心理学会の交流について提案があり、承認された。なお、日本側の窓口を国際委員の箱田裕司氏、韓国側の窓口を李光五氏とすることも承認された。また、日韓のみではなく中国との交流(共同シンポジウム)についても提案があり、これも承認された。詳細は、継続審議となった。

(3) ICP2016 日本開催について

小嶋国際担当常務理事より、ICP2016 日本開催検討委員会の設置について提案があり、委員長を繁柘常務理事とすることが承認された。小嶋・繁柘両常務理事が委員を選任する。

(4) 功績賞の件

職能や社会貢献に関する顕彰を含むべきとの意見が出された。継続審議とする。

(5) 心理職の国資格について

心理職の国資格を早急に実現するため、2 資格 1 法案にこだわらず、関係組織との協議を進めることとした。

以上

社団法人日本心理学会 平成 20 年度 11 月常務理事会議事録

日 時 平成 20 年 11 月 8 日 (土) 15 時—18 時
会 場 (社) 日本心理学会事務局会議室
出席者 岩崎庸男理事長, 日野林俊彦, 小嶋祥三, 繁榊算男, 鈴木直人,
横田正夫各常務理事
(事務局 鈴木厚子, 仮澤 亮)
議 長 岩崎庸男 (理事長)

I. 議事録の確認

前回の常務理事会 (10 月 18 日) の議事録を承認した。

II. 報告事項

1. 事務報告

(1) 会員異動

事務局より, 10 月 1 日—10 月 31 日までの会員異動状況について, 新入会員 12 名, 退会者 1 名, 10 月 31 日現在の会員数 (賛助会員を除く) 7 399 名との報告があった。

岩崎理事長より, 賛助会員増員をとの意見が出され, 今後, 勧誘していくことになった。

2. 委員会報告

(1) 編集委員会

繁榊編集担当常務理事 (委員会委員長) より, 11 月 1 日開催の編集委員会について報告があった。

(2) 認定委員会

横田認定担当常務理事 (委員会委員長) より, 10 月 18 日開催の認定委員会について報告があった。

(3) 国際委員会

小嶋国際担当常務理事より, 前回委員会で推薦された国際委員および IUPsyS 代表について, いずれも内諾が得られたことが報告された。

また, ICP2016 日本開催検討委員会について, 幹事会を 1 月に開催することが報告された。幹事は次の 6 名とする。

ICP2016 日本開催検討委員会幹事

藤田和生, 小嶋祥三, 桑野園子, 仲真紀子, 野口京子, 繁榊算男

3. その他

(1) 倫理委員会

繁榊倫理担当常務理事 (委員会委員長) より, 11 月 8 日に開催された倫理委員会の概要について報告があった。詳細な報告は次回とする。

(2) 公開シンポジウム報告

岩崎理事長より, 10 月 26 日に開催された公開シンポジウムについて報告があった。なお, 今後, 公開シンポジウムの開催時間を短縮したほうがよいのではないかとの意見が出された。

(3) 日本心理学会パンフレットについて

事務局より, 日本心理学会パンフレットを改定したことが報告された。

(4) 会計ソフトについて

事務局より, 会計ソフトを新たに導入したことが報告された。

Ⅲ. 審議事項

1. 入会審査

新規申請のあった 10 件のうち、正会員入会審査規程 2(1), (2)に該当する者 9 名の入会を一括承認し、残る 1 件について資料に基づき審査を行い、2(4)に該当する者 1 名を入会可とした。

2. 国際会議旅費補助の件

小嶋国際担当常務理事より、国際学会、国際会議参加者への旅費支給、補助等に関する内規に基づく申請 1 件について提案があり、減額の上、承認された。

3. 転載許諾依頼

(1)松浦素子氏より、“心理学研究”掲載の下記論文の博士論文への転載依頼があり、承認された。

松浦素子 (2006) . 成人女性のライフスタイルと精神的健康との関連——役割達成感とパーソナリティの観点から—— 心理学研究, 77, 48-55.

(2)川島亜紀子氏より、“心理学研究”に掲載された下記論文の博士論文への転載依頼があり、承認された。

川島亜紀子・伊藤教子・菅原ますみ・酒井 厚・菅原健介・北村俊則 (2008) . 青年期の子どもを持つ夫婦による夫婦間葛藤に対する原因帰属と対処行動 心理学研究, 79, 365-371.

(3)高岡 滋氏より、“日本心理学会大会発表論文集”に掲載された、下記論文のホームページへの転載依頼があり、承認された。

高岡 滋 (2006) . どのように水俣病は隠されてきたのか——新たな水俣病検診受診者の意識調査—— 日本心理学会第 70 回大会発表論文集,158.

高岡 滋 (2008) . メチル水銀曝露住民の視覚探索能力 日本心理学会第 72 回大会発表論文集,738.

4. その他

(1)公益法人制度改革について

日野林財務担当常務理事から公益社団法人として申請する方向性を、理事会で確認すべきとの提案があり、承認された。11 月 11 日(火)に文部科学省の第 2 回新公益法人制度に係る説明会が開催される。

(2)2009 年度第 73 回大会について

鈴木総務担当常務理事より、2009 年度第 73 回大会について、大会準備委員会委員長 吉田 甫氏、事務局長 藤 健一氏 (立命館大学)、国際文献印刷社、鈴木総務担当常務理事、日野林財務担当常務理事および事務局で打合せをもったことが報告された。(a)海外からの発表者に表題・発表者の情報がわかるように、発表申込み時に英文表題およびキーワードを明記すること (ホームページ等に掲載予定) ,(b)今後の日韓の連絡は箱田裕司氏・李光五氏に依頼すること,(c)論文集に載せる索引はアルファベット順とすること,(d)終身会員大会参加費について、提案があり承認された。

Ⅳ. その他

1. 職員給与・賞与について

総務・財務委員会より職員 (常勤嘱託も含む) の賞与について提案があり承認された。また、今後、総務・財務委員会で、事務局体制の長期的な見通しとあわせ、常勤嘱託・臨時職員の規定等を検討することとなった。

2. 常置委員会について

今後、常置委員会について再検討していくこととした。

3. 名簿

2008年名簿は50音順であるが、海外の方でアルファベットの記述の（日本語のフリガナがない）会員は50音の最後に掲載することとする。同姓同名の場合には会員番号順とすることが承認された。

4. 他学会との研究・活動協力協定（案）について

小嶋常務理事より他学会との研究・活動協定について提案があり、文言等を一部変更したが、継続審議とした。他学会との研究・活動での協力体制を、今後いっそう強化することが確認された。

5. 認定心理士基準に準拠した教科書について

横田認定担当常務理事から、小委員会の委員の人選を進めることが提案され、審議の結果、承認された。

6. 認定心理士資料の保管について

横田認定担当常務理事から、認定心理士のデータの保管について提案があり、電子媒体にすべきか、保管期間をきるべきか等、審議した。もう一度、認定委員会で審議したうえで、決定することとなった。

以上

社団法人日本心理学会 平成 20 年度 12 月常務理事会議事録

日 時 平成 20 年 12 月 14 日（日）14 時—17 時
会 場 (社)日本心理学会事務局会議室
出席者 岩崎庸男理事長，日野林俊彦，小嶋祥三，繁榊算男，鈴木直人，
横田正夫各常務理事
(事務局 鈴木厚子，仮澤 亮)
議 長 岩崎庸男（理事長）

I. 議事録の確認

前回の常務理事会および理事会（11 月 8 日開催）の議事録を承認した。

II. 報告事項

1. 事務報告

(1) 会員異動

事務局より，11 月 1 日—11 月 30 日までの会員異動状況について，新入会員 10 名，退会者 4 名，11 月 30 日現在の会員数（賛助会員を除く）7 405 名との報告があった。

(2) 会員名簿の件

事務局より，会員名簿の作成と発送の状況について説明がなされた。

(3) 代議員選挙の件

事務局より，2009 年代議員選挙の準備状況について説明があった。2 月 11 日の開票時間は 9 時からとする。

(4) 文部科学省からの臨時調査の件

事務局より，文部科学省からメールによる調査があったことが報告された。また，2009 年 2 月 5 日に行われる実地調査について説明があった。

2. 委員会報告

(1) 倫理委員会

繁榊倫理担当常務理事（委員会委員長）より，11 月 8 日開催の倫理委員会について報告があった。他の学会のガイドライン等についても，倫理委員会で確認することとした。

(2) 総務・財務委員会

日野林財務担当常務理事より，11 月 16 日開催の総務・財務委員会について報告があった。

3. その他

(1) 第 73 回大会英文所属の件

鈴木総務担当常務理事より，日本心理学会第 73 回大会の論文集等へ掲載するポスター発表者の英文所属について，発表者の責任のもとで掲載することとした旨，報告があった。

(2) 公益法人制度改革について

日野林財務担当常務理事より，11 月 11 日に開催された文部科学省の主催による“公益法人制度に関する説明会”について報告があった。

(3) ICP2016 日本開催検討委員会について

繁榊常務理事より，ICP2016 日本開催検討委員会が発足したとの報告があった。

(4) 心理学検定局員の推薦依頼について

岩崎理事長，日本心理学諸学会連合から心理学検定局員の推薦依頼があったことが報告された。

III. 審議事項

1. 入会審査

新規申請のあった 10 件のうち、正会員入会審査規程 2(1), (2)に該当する者 12 名の入会を一括承認し、残る 2 件について資料に基づき審査を行い、2(1)に該当する者 1 名を入会可とし、1 名を保留とした。

2. 2011 年第 75 回大会開催校について

鈴木総務担当常務理事より、日本心理学会第 75 回大会(2011 年)の開催校に日本大学をとの推薦があり承認された。

3. 2009 年度公開シンポジウムテーマの件

鈴木総務担当常務理事より、2009 年度公開シンポジウムについて説明があり、テーマについて検討を行なった。審議の結果、仮題を“誕生から 3 歳までの心の発達”とすることとした。10 月 25 日(日)(於科学技術館サイエンスホール)の他、全国各地域(4 地域程度)で開催することとなった。

4. 会員宛メール送信システムについて

小嶋広報担当常務理事より、日本心理学会会員宛のメール送信システムについて説明があり、承認された。原則として会員全員へメールを送るが、配信を希望しない場合は申し出る旨を、郵便で通知をすることとした。

5. 他学会との研究・活動協力協定について

小嶋常務理事より、他学会との研究・活動協力協定の文書案の修正について説明があったが、継続審議となった。

6. 認定心理士資料の保管について

横田認定担当常務理事より、認定心理士申請書類の保存期間について、認定心理士資格取得より 5 年とし、それ以前の書類を廃棄する旨の提案があり、承認された。

7. 認定心理士基準に準拠した教科書作成委員会

横田認定担当常務理事より、認定心理士に準拠した教科書作成委員会委員の推薦があり、承認された。

8. 転載許諾依頼の件

(1)金子書房より、“心理学研究”掲載の下記論文を“自己心理学 3 健康心理学・臨床心理学へのアプローチ”へ転載することについて依頼があり、承認された。

野村信威・橋本 宰(2006). 地域在住高齢者に対するグループ回想法の試み 心理学研究, 77, 32-39.

(2)放送大学学園より、放送大学授業番組“心理学史('05)”で使用(既に許可済)の“心理学研究第 1 巻”および“日本心理学会 75 年史”掲載の図について、放送期間の延長に伴い、2010 年 3 月まで使用したい旨の依頼があり、これを承認した。

9. 協賛依頼の件

(1)日本マイクロカウンセリング学会より、平成 20 年度第 1 回学術研究集会への協賛依頼があり、これを承認した。

10. その他

(1)医療心理師国家資格制度推進協議会について

12 月 5 日に開催された医療心理師国家資格制度推進協議会の幹事会について、同協議会事務局長に現状を尋ねることとした。

(2)功績賞の件

様々な功績を顕彰するために、推薦制度を設ける必要があることが確認された。継続審議とする。

(3)日本心理学諸学会連合格問題の件

国資格問題と、日本心理学諸学会連合格問題への取り組みと現状について審議した。

IV. その他

1. 全認定心理士を対象とするサービスについて
岩崎理事長より、認定心理士全体を対象としたサービスを開始するとの方針の提案があり、これを確認した。
2. 心理学検定の認定心理士有資格者に対する優遇措置について
心理学検定1級と認定心理士資格が同等であるとの見解をあらためて確認した。岩崎理事長から、日本心理学諸学会連合へ優遇措置の取りやめを申し入れることとした。
3. その他
 - (1)心理学検定局員の推薦依頼
岩崎理事長より、日本心理学諸学会連合から心理学検定局員の推薦の依頼があったことが報告された。
 - (2)公益法人制度改革について
日野林財務担当常務理事より、11月11日開催の文部科学省主催による公益法人制度に関する説明会の報告があった。
 - (3)ICP2016 日本開催検討委員会について
繁樹常務理事より、ICP2016 日本開催検討委員会が発足したことが報告された

以上

社団法人日本心理学会 平成 20 年度 1 月常務理事会議事録

日 時 平成 21 年 1 月 18 日（日）14 時—17 時
会 場 (社)日本心理学会事務局会議室
出席者 小嶋祥三, 繁榊算男, 鈴木直人, 日野林俊彦, 横田正夫各常務理事
(事務局 鈴木厚子, 仮澤 亮)
議 長 鈴木直人 (常務理事)

I. 議事録の確認

前回の常務理事会および理事会（12 月 14 日開催）の議事録を承認した。

II. 報告事項

1. 事務報告

(1) 会員異動

事務局より, 12 月 1 日—12 月 31 日までの会員異動状況について, 新入会員 18 名, 退会者 14 名, 逝去者 1 名, 12 月 31 日現在の会員数 (賛助会員を除く) 7 408 名との報告があった。

(2) 会員名簿の件

事務局より, 会員名簿の発送状況について説明があった。

(3) 代議員選挙の件

事務局より, 2009 年代議員選挙の投票用紙を, 予定通り 1 月 14 日に発送したことが報告された。

(4) 認定心理士資料の保管と廃棄について

事務局より, 過去 5 年間以前の認定心理士資料を廃棄したことが報告された。

2. 委員会報告

(1) 認定委員会

横田認定担当常務理事 (委員会委員長) より, 12 月 20 日に開催された認定委員会の報告があった。引き続き, 認定心理士に準拠した教科書作成委員会についても報告された。

(2) 倫理委員会

繁榊倫理担当常務理事 (委員会委員長) より, 12 月 26 日開催の倫理委員会について報告された。

(3) 将来構想検討委員会

繁榊常務理事より, 1 月 11 日に開催された将来構想検討委員会専門委員長会議について報告された。

(4) 総務・財務委員会

日野林財務担当常務理事より, 1 月 18 日に開催された総務・財務委員会について報告があった。

3. その他

(1) 第 4 回国際賞応募状況について

小嶋国際賞担当常務理事より, 第 4 回国際賞の応募状況の説明があり, 奨励賞について新規申請 5 件および前回からのキャリアオーバー 2 件が審査対象となっていることが報告された。

(2) 会員メール送信サービスの状況

事務局より, 会員向けのメール送信サービスの開始に関する通知を全会員へ送付したことが報告された。

(3)公開シンポジウム（2009年度）の件

鈴木総務担当常務理事より、2009年度に開催される公開シンポジウム（テーマ“誕生から3歳までの心の発達”）について、企画を小西行郎氏に依頼し、了解を得たことが報告された。

(4)ICP2016 日本開催検討委員会について

繁樹常務理事より、1月31日に開催されたICP2016 招致検討委員会について報告があり、3月までに方針を決定する旨の説明があった。

(5)日本心理学諸学会連合の件

鈴木総務担当常務理事より、12月に開催された日本心理学諸学会連合理事会について報告があった。

III. 審議事項

1. 入会審査

新規申請のあった12件のうち、正会員入会審査規程2(1)、(2)に該当する者10名の入会を一括承認し、残る3件について資料に基づき審査を行い、2(4)に該当する者2名を入会可、1件再度保留となった。

2. 理事会議題の件

鈴木総務担当常務理事より説明があり、2008年度第3回理事会の議題について審議した。

3. 倫理問題への対応について

繁樹倫理担当常務理事より、倫理委員会にて審議中の倫理規程案より“倫理問題の解決”に関する条項について説明があり、今後問題が起きた時の対応について審議したが、継続審議となった。なお、倫理規程を認定心理士にも準じて適用する旨の文言を入れるべきとの意見があり、承認された。

4. 国際会議等旅費補助申請の件

小嶋国際担当常務理事より、国際学会、国際会議参加者への旅費支給、補助等に関する内規に基づく申請1件について提案があり、減額の上、承認された。

5. 協賛共催依頼の件

(1)日本人間工学会より、日本人間工学会第50回記念大会への協賛依頼があり、承認された。

6. その他

(1)功績賞の件

鈴木総務担当常務理事より、次回理事会で功績賞の創設を諮る旨の提案があり、承認された。なお、2月常務理事会で規程案を審議することとした。

(2)中国・韓国心理学会との協力関係について（日韓協力体制・日中共同シンポジウム）

小嶋国際担当常務理事より、第73回大会における日中共同シンポジウムのテーマおよび日韓協力体制について説明があり、承認された。

(3)心理学検定局員の推薦依頼

鈴木総務担当常務理事より、日本心理学諸学会連合からの心理学検定局員の推薦依頼について説明があり、継続審議となった。

IV. 懇談

国資格問題について意見交換を行った。

以上

社団法人日本心理学会 平成 20 年度 2 月常務理事会議事録

日 時 平成 21 年 2 月 14 日(日)16 時—19 時
会 場 日本心理学会事務局会議室
出席者 岩崎庸男理事長，小嶋祥三，繁榊算男，鈴木直人，日野林俊彦，
横田正夫各常務理事，
(事務局 鈴木厚子，仮澤 亮)
議 長 岩崎庸男 (理事長)

常務理事会に先だち，山岡 淳選挙管理委員 (名誉会員) に選挙の最終結果の確認をお願いした。

I. 議事録の確認

前回の常務理事会および理事会 (1 月 18 日開催) の議事録を承認した。

II. 報告事項

1. 理事長報告

(1) 日本心理学諸学会連合報告

岩崎理事長より，2 月 8 日に開催された日本心理学諸学会連合常任理事会について報告があった。

2. 事務報告

(1) 会員異動

事務局より，1 月 1 日—1 月 31 日までの会員異動状況について，新入会員 13 名，退会者 7 名，逝去者 1 名があり，1 月 31 日現在の会員数 (賛助会員を除く) 7 413 名との報告があった。

(2) 文部科学省実地検査の件

鈴木総務担当常務理事より，2 月 5 日に実施された文部科学省による実地検査について報告があった。

3. 委員会報告

(1) 編集委員会

繁榊編集担当常務理事 (委員会委員長) より，1 月 24 日に開催された編集委員会について報告された。

(2) ICP 招致検討委員会

繁榊常務理事より，1 月 31 日に開催された ICP2016 招致検討委員会および 2 月 7 日開催の日本政府観光局 (JNTO : Japan National Tourism Organization) との打ち合わせ会について報告があった。

4. その他

(1)倫理委員会外部レビューの件

繁榊倫理担当常務理事(委員会委員長)より、倫理規程の状況について説明があり、外部レビュー依頼者について確認した。なお、外部レビュー依頼は岩崎理事長・繁榊委員長名で送ることとした。

(2)国際賞選考委員会審査状況

小嶋国際賞選考担当常務理事より、2009年度(第4回)国際賞の審査状況について説明があった。

III. 審議事項

1. 入会審査

新規申請のあった103件のうち、正会員入会審査規程2(1)、(2)に該当する者100名の入会を一括承認し、残る3件について資料に基づき審査を行い、2(4)に該当する者3名を入会可とした。

2. 選挙管理委員会当選者確定承認の件

小嶋常務理事(選挙管理委員長)より、2月11日に開催された代議員選挙の開票結果について説明があり、これを承認した。

3. 韓国との協力関係について 協定書承認の件

小嶋国際担当常務理事より、“日本心理学会と韓国心理学会との協力に関する協定書”案について提案があり承認した。この協定書を韓国心理学会と取り交わすことで、今後の学術交流を深めていくこととなった。

4. 理事会議題の件

理事会の議題について審議した。公益社団法人申請の件は、3月の理事会で公益社団法人化を目指す方針を諮り、予算案等は、文部科学省の实地検査で3月の期末報告提出が必要でないとのことなので、6月理事会にて諮ることを決定した。また、基金について審議したが、総務財務委員会を開き、さらに詰めることとなった。

5. 協賛依頼の件

(1)システム制御情報学会より、システム制御情報講習会“あなたのプライバシーは護られていますか?——監視社会におけるプライバシー保護のあり方と最近の工学的取り組み——”への協賛依頼があり、承認された。

6. その他

(1)国際心理学会議招致準備委員会

繁榊常務理事より、ICP2016 を招致することが提案され、国際心理学会議招致準備委員会を発足することが承認された。国際心理学会議招致準備委員会は ICP 招致検討委員会に引き続きお願いする。

(2)広報委員会“心理学ワールド”ホームページ掲載の件

小嶋広報担当常務理事より、“心理学ワールド”刊行後すぐにホームページに掲載すること（会員・認定心理士に公開）が提案され承認された。また、一般公開する範囲を広報委員会で検討していることが報告された。常務理事会と委員会との関わりについて、疑問点があり、出版社と話し合うこととなった。

(3)第 73 回大会学会関連企画シンポジウムについて

事務局より、第 73 回大会準備委員会から日本心理学会常務理事会主催のシンポジウムの件数確認があったとの報告があり、内容を審議し確定した。また、認定心理士向けのシンポジウムを日本心理学会(認定委員会)企画で行うことが承認された。

以上

社団法人日本心理学会 平成 20 年度 3 月 常務理事会 議事録

日 時 平成 21 年 3 月 14 日 (日) 11 時—14 時
会 場 日本心理学会事務局会議室
出席者 岩崎庸男理事長, 小嶋祥三, 繁榊算男, 鈴木直人, 日野林俊彦,
横田正夫各常務理事,
(事務局 鈴木厚子, 仮澤 亮)
議 長 岩崎庸男 (理事長)

I. 議事録の確認

前回の常務理事会 (2 月 14 日開催) の議事録について, 一部修正の上, 承認した。

II. 報告事項

1. 事務報告

(1) 会員異動

事務局より, 2 月 1 日—2 月 28 日の会員異動状況について, 新入会員 65 名, 退会者 40 名, 逝去者 3 名, 2 月 28 日現在の会員数 (賛助会員を除く) 7 435 名との報告があった。

(2) その他

事務局から以下の報告があったこと、次期代議員就任予定者に対して理事選挙の投票用紙を発送したことが報告された。また, 2 月の年度会費請求書類発送時, 払込取扱票の封入時に問題のあった会員があり、再請求の際には、このことを配慮するとの報告があった。

2. 委員会報告

(1) 編集委員会

繁榊編集担当常務理事 (委員会委員長) より, 3 月 7 日に開催された編集委員会について報告された。

(2) 認定委員会

横田認定担当常務理事 (委員会委員長) より, 2 月 28 日に開催された認定委員会および認定心理士に準拠した教科書作成委員会について報告された。

(3) 倫理委員会

繁榊倫理担当常務理事 (委員会委員長) より, 3 月 1 日に開催された倫理委員会について報告された。

(4) 国際賞選考委員会

小嶋国際賞担当常務理事より, 2 月 24 日に開催された国際賞選考委員会について第 4 回国際賞奨励賞授賞者等の報告があった。

(5) 将来構想検討委員会

鈴木総務担当常務理事より, 2 月 15 日に開催された将来構想検討委員会専門委員長会儀について報告された。

(6) 総務・財務委員会

日野林財務担当常務理事 (委員会委員長) より, 3 月 6 日に開催された総務・財務委員会について報告された。なお, 各種基金案について 6 月理事会に諮ることを確認した。

(7) 国際心理学会議招致準備委員会

繁榊常務理事 (委員会委員長) より, 2 月 28 日開催の国際心理学会議招致準備委員会について報告があった。

3. その他

(1) 倫理規程レビューの件

繁榊倫理担当常務理事（委員会委員長）より、倫理規程案の外部レビューを行なうため、他学会会長宛て、常務理事と倫理委員からの推薦者宛てに倫理規程案を送付したとの報告があった。

(2) “心理学ワールド” ホームページ公開の件

小島広報担当常務理事から3月10日の実務教育出版との打ち合わせについて報告があった。実務教育出版から会員および認定心理士への“心理学ワールド”ホームページ公開については、4月号の著者から、ホームページへの掲載確認をとっている旨の報告があった。今後、会員および認定心理士にはIDとパスワードを知らせて、ホームページから“心理学ワールド”が読めるようにすることが確認された。どの記事を一般公開するかについては、今後検討する。

(3) 大会関連事項について

鈴木総務担当常務理事より、日本認定心理士会企画の第73回大会開催予定のプログラムについて説明があったり、日本心理学会との共同企画とはしないことを確認した。また、横田認定担当常務理事より、日本心理学会認定委員会企画の認定心理士向けプログラム案について報告があった。

III. 審議事項

1. 入会審査

新規申請のあった128件のうち、正会員入会審査規程2(1), (2)に該当する者127名, 2(4)に該当する者1名を一括承認し、入会可とした。なお、正会員入会審査規程第2条が、定款と異なっており、第2条の改正を6月理事会に諮ることとした。

2. 委員会委員の件

鈴木総務担当常務理事より、任期満了に伴い交替委員の選出が必要な委員会があるとの提案があり、優秀論文賞選考委員会委員（3月末）、心理学ワールド編集委員会委員（6月末）、広報委員長（6月末）については審議したが、メール会議等使用しての継続審議となった。

認定心理士研修委員会の設立趣旨と委員について横田認定担当常務理事から提案があり、承認された。

3. 理事会議題の件

鈴木総務担当常務理事から理事会の議題、進行について提案があり、審議の結果、承認した。

4. 転載許諾依頼の件

(1) (財)東京大学出版会より、“心理学研究”および“Japanese Psychological Research”掲載の下記論文を大山 正・齋藤美穂編“色彩学入門——色と感性の心理——”へ転載することについて依頼があり、承認された。

大山 正・田中靖政・芳賀 純（1963）. 日米学生における色彩感情と色彩象徴 心理学研究, **34**, 109-121.

Oyama, T., & Nanri, R. (1960). The effects of hue and brightness on the size perception. *Japanese Psychological Research*, **2**, 13-20.

(2) 論説資料保存会より、“心理学研究”掲載の下記論文を“英語学論説資料”第41号へ転載することについて依頼があり、承認された。

浅川伸一（2005）. 英単語の読みにおける二重経路モデルとトライアングルモデルの統合の試み 心理学研究, **75**, 523-529.

以上